

12月7日

テーマ：「**霊に燃え、主に仕えなさい**」

聖書箇所：ローマ人への手紙12章11節

◆今日のみことば

.....

勤勉きんべん おこたで怠ならず、**霊れい もに燃え、主しゅ つかに仕えなさい。**

.....

てがみ
ローマ人への手紙12章11節

.....

◆メッセージ

毎日、過ごす中で何か心を打ち込んでやっていますか。あるとしたらそれは何でしょうか。

今日の聖書箇所は、パウロさんがローマの教会の人々に当てた手紙ですが、その中で、パウロさんは勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさいと勧めています。霊に燃えるとは、何かを心を打ち込んで行く、すなわち熱心に行くことです。ですから、言い換えれば「みなさん、自分がなすべきことをまじめに行ってください。神さまに言われていることを熱心に行ってください。」となるでしょうか。



パウロさんがこう言われたのは、ローマの教会に自分のやるべきことや教会での奉仕を誠実に行わなかったり、喜んでしなかったりする人がいたからだと考えられます。そのために教会の他の人に迷惑をかけ、神さまを悲しませることがあったでしょう。

しかし、パウロさんは神さまを信じて心から受け入れた人は、神さまと人を愛して、喜ばれることを熱心に行うと言います。そのために、聖霊さまはいつも共にして何をするべきか教えて行えるように助けてくださいます。

それでは、私たちが日々、心を打ち込んで行くべきことは何でしょうか。学校で先生のお話をよく聴くこと、友だちと仲良く過ごすこと、助けを求める友だちを喜んで助けること、家でお母さんのお手伝いをする事、教会学校で心から祈り、賛美すること…など、たくさんあります。使徒の働



きに出てくるアポロさんは、神さまを信じる人で、とても熱心にイエスさまのことを伝える人でした。そんなアポロさんによって周りのクリスチャンたちは励まされ、イエスさまのことを知る人も起こされました。

今、心を打ち込んでやっていたことがあるでしょうか。それは、神さまと人を愛して喜ばれることでしょうか。お祈りして思い出すことがあれば、これから熱心に行ってください。

◆お祈り

神さまと人を愛して喜ばれることを聖霊さまの助けをいただいて熱心に行うことができますように。

(京都めぐみ教会 加藤 賢娥)